

## 東北大学環境報告書 2025 に対する評価

「環境報告書 2025」は、環境にかかわる東北大学の多岐にわたる活動内容について、体系的かつ網羅的にまとめられた報告書である。本報告書は、総論と各論に分かれているが、総論に掲載されたまとめの表から各論への誘導がスムーズで、全体を俯瞰できる良い構成である。2025 年版も実績が適切に開示され、その要因についても具体的な背景情報をもとに評価がなされており、事業所の報告義務を十分に果たしている。同時に、2024 年版に対する本評価委員会の意見内容がすべて反映され、改善がなされていることが確認できた。特に、トピックスとして紹介されている、環境関連の研究からは、大学として幅広い環境活動に熱心に取り組み、社会へ貢献しようとする姿勢がうかがえる。さらに、社会との共創や学生の声の内容からは、読者である一般市民に対する親和性が感じられ、本報告書があまり環境報告書への興味が低い層にも十分届く内容であると思われる。

最後に、精緻なデータを入手し評価を行いながら、膨大な情報量を分かりやすくまとめられた環境報告書作成専門部会（2025 年度）のご努力に深く敬意を表す。今後、本報告書がさらに充実し、東北大学の環境マネジメントにさらに有効に活用されることを期待し、本委員会でも出された主な意見を以下に列挙するので、参考にしていただければ幸いである。

- 1) 6 頁で「東北大学グリーンゴールズ宣言」について、温室効果ガス排出量に係る長期目標を説明しているが、2025 年 3 月策定の実行計画（8 頁）を含め、2040 年度までのカーボンニュートラルに向けたロードマップ（工程表）があると各取組の関係性や目標達成までのプロセスへの理解がより深まると思われる。
- 2) I 総論「2. 環境理念及び環境方針」の中で、環境方針『(6)大学運営の効率化』の部分が、6～7 頁の「5. 環境目標及び環境活動計画と実施状況」に関連していることを示しているが、どこに該当するのか分かりにくい。どちらかの項目で関連が分かる記載があれば良い。
- 3) II 各論「3. 環境関連研究の紹介」で、個々の研究が今後社会にどのように応用・還元されるのかについて、専門以外の一般の読者にも理解可能な解説を加えることが望まれる。

## 東北大学環境報告書評価委員会（2025 年度）

	所 属	職 名	氏 名
委員長	工学研究科	教 授	渡邊 賢
委 員	環境科学研究科	教 授	齋藤 優子
委 員	電気通信研究所	准教授	櫻庭 政夫
委 員	歯学研究科	教 授	山内 健介
委 員	経済学研究科	教 授	大瀬戸 真次
委 員	薬学研究科	准教授	重野 真徳
委 員	農学研究科	准教授	井元 智子
委 員	宮城県環境生活部 環境政策課	課 長	熊谷 香織
委 員	東北電力株式会社 グループ戦略部門 サステナビリティ推進ユニット	マネージャー	中原 憲一